

カキ生育情報

千葉県
平成 29 年 8 月号

平成 29 年 7 月の気象

平成 29 年 7 月の半旬別の気象を表 1 に示した。平均気温は第 6 半旬を除く 5 半旬で平年を上回った。月平均気温は 25.6℃で、平年より 1.2℃、前年より 1.6℃高かった。

降水量は全ての半旬で平年を下回り、第 2、第 3 及び第 5 半旬では降雨がなかった。月合計は 39mm で、平年の 20%、前年の 34%と少なかった。

日照時間は第 6 半旬を除く 5 半旬で平年を上回った。月合計は 250 時間で平年の 148%、前年の 137%であった。

梅雨明けは 7 月 19 日ごろで、平年より 2 日、前年より 10 日早かった。

7 月 4 日から 5 日にかけて台風 3 号が館山沖を通過したが、大きな被害はなかった。

表 1 平成 29 年 7 月の気象 (暖地園芸研究所)

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	25.5	22.7	24.2	16	37	0	32	21	40
2	25.0	23.3	23.4	0	44	66	50	23	26
3	25.8	24.4	24.6	0	38	1	59	25	28
4	25.6	24.7	25.3	13	23	0	41	28	23
5	26.4	25.1	22.0	0	25	40	37	32	23
6	25.3	25.8	24.7	10	27	7	32	42	42
平均/計	25.6	24.4	24.0	39	194	114	250	169	182

樹及び果実の生育

7 月末のカキの果径を表 2 に示した。横径は「西村早生」と「松本早生富有」が 2 地区の平均でみるとそれぞれ 5.49cm、5.41cm、「富有」が 5.87cm であった。平年と比べると「西村早生」は 104%、「富有」は 105%と大きかったが、「松本早生富有」は 97%と小さく、特に市原市で小さい傾向であった。

縦径は「西村早生」と「松本早生富有」が 2 地区の平均でみるとそれぞれ 4.35、4.07cm、「富有」が 4.35cm であった。平年と比べると「西村早生」は 108%、「松本早生富有」は 101%、「富有」は 103%と、いずれも平年並か大きかった。

果形指数は「西村早生」と「松本早生富有」が 2 地区の平均でみるとそれぞれ 1.26、1.33、「富有」が 1.35 であった。平年と比べると「西村早生」及び「松本早生富有」は小さく、「富有」は大きかった。

本年の果実の発育は、市原市の「松本早生富有」が小果の傾向であるが、他の調査地は順調である。生理落果は各調査地のいずれの品種とも平年並か少ない。着果量は市原市の「松本早生富有」でやや少ないが、他の調査地は平年並である。

表2 果実の生育（7月末調査）

品 種	調 査 地	横 径 (cm)			縦 径 (cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
西村早生	いすみ市	5.27	5.25	5.21	4.29	4.07	4.17	1.23	1.29	1.25
	暖地園研	5.72	5.34	5.81	4.40	4.01	4.27	1.30	1.33	1.36
	平 均	5.49	5.29	5.51	4.35	4.04	4.22	1.26	1.31	1.31
松本早生 富有	市原市	4.84	5.50	5.54	3.79	3.98	4.29	1.28	1.39	1.29
	暖地園研	5.99	5.60	5.93	4.35	4.11	4.29	1.38	1.36	1.38
	平 均	5.41	5.55	5.74	4.07	4.05	4.29	1.33	1.38	1.34
富 有	暖地園研	5.87	5.60	6.00	4.35	4.21	4.44	1.35	1.33	1.35

果形指数：横径／縦径

平年：暖地園研は1990年～2016年の平均、いすみ市、市原市は1998年～2016年の平均

8～9月の作業

摘 果

「西村早生」では、8月下旬頃(着色開始期)から仕上げ摘果を行う。果頂部が凹んだ果実や不整形の果実、着色が遅いか着色ムラのある果実は、渋果の恐れがあるので摘果する。

枝管理

秋雨による汚損果の発生を防ぐため、果実に重なる葉や枝は摘除し、果実の重みで地面近くに垂れ下がった側枝は、枝支えやつり上げを行う。2次伸長枝は8月下旬～9月上旬頃に充実した部分まで切り返して除去する。

かん水

かん水は果実肥大の促進、樹勢の維持向上、翌年の花芽数の増加等の効果が期待できる。本年は7月の降水量が少なかったため、作土の浅い園や乾燥しやすい園では積極的に行う。

収 穫

9月中旬頃から「西村早生」の収穫が始まる。カラーチャートを活用して適熟果の収穫に努めるとともに、果実はほんの小さな傷でも黒変しやすいので、ていねいに扱うことを心がける。また、渋果の混入を防ぐために、必ず渋果判定機による選別を行う。

病害虫防除

気温が下がり秋雨が始まると、うどんこ病、落葉病、炭疽病の発生が多くなる。防除適期は8月下旬～9月上旬である。9月上旬～中旬にはカキノヘタムシガやフジコナカイガラムシの防除のため、バンド誘殺を行う。また、カキノヘタムシガの被害果は地中に埋没する。なお、カメムシ類の発生が多い場合は、8月中旬以降が防除適期である。防除は千葉県農作物病害虫雑草防除指針に基づいて行う。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合があります。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>